

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 23 年 9 月 29 日 (2011.9.29)

【公開番号】特開 2008-293377 (P2008-293377A)
【公開日】平成 20 年 12 月 4 日 (2008.12.4)
【年通号数】公開・登録公報 2008-048
【出願番号】特願 2007-139667 (P2007-139667)
【国際特許分類】

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 17/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 17 日 (2011.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体に設けられた磁気ストライプに対して磁気ヘッドを接触させて磁気情報を書込み / 読取る磁気記録装置において、

複数種類の磁気ストライプを磁気ヘッドで読み取った場合の読取出力が同一となるような書き込み電流値を磁気ストライプの種類ごとに格納する電流値格納手段と、

磁気ストライプの種類を示す情報に基づいて前記電流値格納手段に格納された電流値を磁気ヘッドに設定する設定手段とを設けたことを特徴とする磁気記録装置。

【請求項 2】

媒体の識別情報を読取る読取手段を備え、

前記読取手段により読取った媒体の識別情報に基づいて磁気ストライプの種類を判断する請求項 1 記載の磁気記録装置。

【請求項 3】

磁気ストライプの種類を判断する判断手段を備えた上位装置に接続され、

前記読取手段により読取った媒体の識別情報を前記上位装置に送信し、前記判断手段で磁気ストライプの種類を判断した判断結果を受信する請求項 2 記載の磁気記録装置。

【請求項 4】

磁気ストライプの種類を判断する判断手段を備え、

前記読取手段により読取った媒体の識別情報に基づいて、前記判断手段で磁気ストライプの種類を判断する請求項 2 記載の磁気記録装置。

【請求項 5】

前記電流値格納手段は、装置ごとに電流値の補正値を格納する補正値格納手段を備え、前記設定手段により設定された電流値を、前記補正値格納手段に格納された補正値により補正する請求項 1 から 4 記載の磁気記録装置。

【請求項 6】

前記媒体は冊子状媒体であり、

前記電流値格納手段は、前記冊子状媒体の頁ごとに電流値の補正値を格納する頁補正値格納手段を備え、

前記設定手段により設定された電流値を、前記頁補正値格納手段に格納された補正値により補正する請求項 1 から 4 記載の磁気記録装置。

【請求項 7】

前記媒体の識別情報は、抗磁力に関する情報又は顧客情報であることを特徴とする請求項 1 から 6 記載の磁気記録装置。